令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　普通科

１　期待する生徒像

人物に優れ，積極的な学習意欲を持ち，入学後も本校で以下のいずれかの特色を発揮できる者。

ア　学習成績が特に優れ，本校の進学類型等に興味・関心があり，授業に積極的に取り組む意欲があること。

イ　英語において高い能力を有し，本校の国際交流活動や国際教養コースに興味・関心があり，その資質をさらに発展させる意欲があること。

ウ　スポーツ活動で優れた資質を有し，体育・スポーツ活動での特色を引き続き発揮できること。

エ　文化活動･音楽活動･生徒会活動等で優れた資質を有し，自己の資質をさらに発展させる意欲があること。

２　選抜資料

⑴ 学力検査	５教科の学力検査の得点
⑵ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑶ 学校設定検査（自己表現）	次のア・イのいずれかを，出願時に志願者が選択。 ア　口頭による自己表現 日本語による自己アピールあるいは英語による自己アピール。 実施形態：個人で発表　検査時間：２分 イ　実技による自己表現 次の種目のうち一つを選択。 ソフトボール・陸上競技（長距離）・陸上競技（短距離） バスケットボール・サッカー・バレーボール・剣道・柔道 体操競技・基礎的運動・吹奏楽管弦楽 実施形態：個人で発表　検査時間：２分

３　評価項目及び評価基準

⑴ 学力検査〔５００点満点〕

評価項目	評　価　基　準
５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。

⑵ 調査書〔１７５点満点〕

アの数値に，イ～ウについて加点（上限４０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評　価　基　準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。
イ　５教科における学習の記録	国語，社会，数学，理科及び外国語の評定の全学年の合計値で順位を付け，順位に応じて加点する。
ウ　特記事項	３級以上の英語検定について加点する。

⑶ 学校設定検査（自己表現）〔３６点満点〕

次のア，イについて，それぞれ２名の評価者が，２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。

ｖを９点，ｓを７点，ａを５点，ｂを２点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各１８点満点）を合計し，得点化する。

ア　口頭による自己表現

評価項目	評　価　基　準
(ｱ) 表現内容	自己の経験や今後の取り組みについて，しっかりと表現できている。
(ｲ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

イ　実技による自己表現

評価項目	評　価　基　準
(ｱ) 表現内容	基礎的及び専門的な能力を身に付けている。
(ｲ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

4　選抜方法

⑴ 市内中学生優先入学制度

令和９年度船橋市立船橋高等学校第１年次入学者選抜要項において，「普通科において募集定員の一部について，本人及びその保護者が船橋市内に居住し，市内の中学校等を令和９年３月卒業見込みの者を優先とする。」としている。そのため，まずこれに該当する受検者を募集人員の２０％程度まで入学許可候補者として確保する。選抜方法は⑵の**ア**に準ずる。

⑵ 選抜の方法

ア　「学力検査の得点」，「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，募集人員の４５％程度までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	自己表現	
５００点	１３５点	４０点	３６点	７１１点

イ　上記**ア**で決まらなかった者については，「学力検査の得点」に，「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数（k1＝1，k2＝1，k3＝5）を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，原則として募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
(k4＝1)	評定(K＝1，k1＝1)	加点(k2＝1)	自己表現(k3＝5)	
５００点	１３５点	４０点	１８０点	８５５点

※　k1：**ア**の「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数
※　k2：**ア**の「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数
※　k3：**ア**の「学校設定検査の得点」に乗じる係数
※　k4：**ア**の「学力検査の得点」に乗じる係数

5　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面接を行う。

令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　商業科

１　期待する生徒像

人物に優れ，商業に関する興味・関心と積極的な学習意欲を持ち，卒業後の進路についても意欲的に取り組む意志があり，入学後も本校で以下のいずれかの特色を発揮できる者。

ア　学習成績に優れ，授業に積極的に取り組む意欲があること。

イ　商業的実技の資格又は資質を有し，自己の進路実現に向けて高度資格の取得や本学科の学習活動に積極的に取り組む意欲があること。

ウ　スポーツ活動で優れた資質を有し，体育・スポーツ活動での特色を引き続き発揮できること。

エ　文化活動･音楽活動･生徒会活動等で優れた資質を有し,自己の資質をさらに発展させる意欲があること。

２　選抜資料

⑴ 学力検査	５教科の学力検査の得点
⑵ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑶ 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
ア　面接	受検者１名・評価者２名の個人面接　検査時間：１名３分
イ　自己表現	次の(ｱ)・(ｲ)のいずれかを，出願時に志願者が選択。 (ｱ) 口頭による自己表現 日本語で自己アピール。 実施形態：個人で発表　検査時間：２分 (ｲ) 実技による自己表現 次の種目のうち一つを選択。 ソフトボール・陸上競技（長距離）・陸上競技（短距離） バスケットボール・サッカー・バレーボール・剣道・柔道 体操競技・基礎的運動・吹奏楽管弦楽 実施形態：個人で発表　検査時間：２分

３　評価項目及び評価基準

⑴ 学力検査〔５００点満点〕

評価項目	評　価　基　準
５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。

⑵ 調査書〔１６５点満点〕

アの数値に，イについて加点（上限３０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評　価　基　準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。
イ　特記事項	検定試験(簿記，珠算，情報処理，英語等)について加点する。

⑶ 学校設定検査〔３２０点満点〕

①面接〔１６０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを４０点，ｓを３０点，ａを２０点，ｂを１０点，ｃを５点とし，２名の評価者の評価（各８０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　応答内容	商業科への志望動機，興味・関心がうかがえる。
イ　態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができている。

②自己表現〔１６０点満点〕

次のア，イについて，それぞれ２名の評価者が，２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。

ｖを４０点，ｓを３０点，ａを２０点，ｂを１０点，ｃを５点とし，２名の評価者の評価（各８０点満点）を合計し，得点化する。

ア　口頭による自己表現

評価項目	評　価　基　準
(ｱ) 表現内容	自己の経験や今後の取り組みについて，しっかりと表現できている。
(ｲ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

イ　実技による自己表現

評価項目	評　価　基　準
(ｱ) 表現内容	基礎的及び専門的な能力を身に付けている。
(ｲ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

4　選抜方法

「学力検査の得点」，「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接･自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，原則として募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評定（K＝1）	加点	面　接	自己表現	
５００点	１３５点	３０点	１６０点	１６０点	９８５点

5　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面談を行う。

令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　体育科

１　期待する生徒像

人物に優れ，スポーツ活動に関する興味・関心と積極的な学習意欲を持ち，入学後も本校で体育・スポーツ活動での特色を発揮できる者。

２　選抜資料

⑴ 学力検査	５教科の学力検査の得点
⑵ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑶ 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
ア　適性検査Ⅰ	走力，跳力，投力の基礎的な検査　検査時間：５～１０分程度
イ　適性検査Ⅱ	次の種目のうち一つを選択 ソフトボール・陸上競技（長距離）・陸上競技（短距離） バスケットボール・サッカー・バレーボール・剣道・柔道・体操競技 実施形態：個人および集団　検査時間：３０分程度（種目により異なる）

３　評価項目及び評価基準

⑴ 学力検査〔５００点満点〕

評価項目	評　価　基　準
５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。

⑵ 調査書〔１３５点満点〕

評価項目	評　価　基　準
教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。

⑶ 学校設定検査〔３５０点満点〕

①適性検査Ⅰ〔９０点満点〕

各種目を測定し，男女別に評価する。

評価項目	評　価　基　準
基礎的な運動能力	基礎的な運動能力を身に付けている。

②適性検査Ⅱ〔２６０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価し，２名の評価者による，評価項目ごとの評価の組合せ（ｖｖ～ｃｃ）で得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　基礎能力	基礎能力を身に付けている。
イ　専門能力	専門能力を身に付けている。

４　選抜方法

「学力検査の得点」，「調査書の得点」及び「学校設定検査（適性検査Ⅰ・Ⅱ）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，原則として募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点		総得点
	評定（Ｋ＝１）	適性検査Ⅰ	適性検査Ⅱ	
５００点	１３５点	９０点	２６０点	９８５点

５　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面接を行う。